

JICA が行う国際協力・国際理解教育に関する事業の一部を紹介します！



JICA (Japan International Cooperation Agency 独立行政法人国際協力機構) は、日本の政府開発援助 (ODA) の実施機関で、世界約 150 カ国の国と地域、日本国内 15 ヶ所の国内拠点で開発途上国^{※(1)} (以下、「途上国」という) の課題解決に取り組んでいます。途上国が抱える問題に対し、日本が持っているリソース (資金や資材、技術や経験、人材等) を活用してその国のよりよい国づくりに協力しています。

JICA が行う事業の中から、「JICA 海外協力隊」と「国際協力出前講座」について紹介します。

鳥取から世界へ！ 自分の技術や経験を活かしてみませんか？

鳥取県で参加した方は 270 名を超え、帰国後も幅広い分野で活躍しています！

JICA 海外協力隊

JICA 海外協力隊は、途上国の人々のために、自分の持っている技術や経験を活かしてみたいという強い意欲を持っている方を派遣する事業です。現地の人々の言葉を話し、ともに生活・協働しながら途上国の国づくりに協力します。今年度から年齢区分に加えて、「一般案件」と専門性の高いスキルを必要とする「シニア案件」の区分が追加されました。(右図参照)

JICA 海外協力隊の春募集が始まっています
4月3日(水)まで

詳しくはお問い合わせください。

JICA 海外協力隊 (一覧)

	派遣時の名称		総称
	20歳～45歳	46歳～69歳	
一般案件 一般的なスキル	青年海外協力隊	海外協力隊	JICA 海外協力隊
	日系社会青年海外協力隊	日系社会海外協力隊	
シニア案件 [*] 専門性の高いスキル	シニア海外協力隊		
	日系社会シニア海外協力隊		

^{*}一定以上の技能や経験 (10～15年) が必要
シニア案件とは、年齢を示すものではなく専門性の高いスキルが求められます。

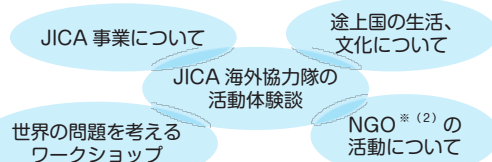
生きた体験談、お伝えします！ 学校や地域で行う国際理解教育にぜひご活用ください！

国際協力出前講座

- 途上国や国際協力の現状を知ってもらうために、国際協力の現場で活動経験のある JICA 海外協力隊等を講師として紹介し、体験談やワークショップを実施しています。体験談では、現地の生活や文化、医療、教育、スポーツ分野に幅広く活動した経験を語ります。ワークショップでは、参加型手法を活用しながら世界を知り学ぶことができます。

学校や公民館講座、グループサークルなど、お気軽にご相談ください。

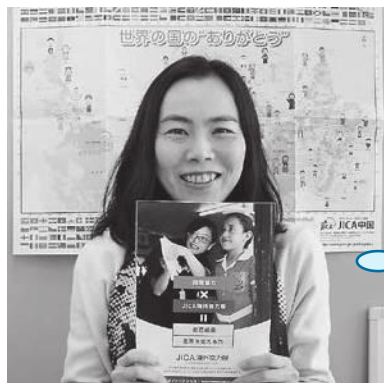
ご希望のテーマや内容に応じて、講師を紹介します！



費用等、詳しくはお問い合わせください。

※ (1) 開発途上国 世界 196 カ国のうち、約 150 もの国々が、開発途上国と呼ばれます。開発途上国の多くは貧困や紛争といった問題を抱えています。

※ (2) NGO Non-Governmental Organizations の略。ここでは、国際協力に携わる非政府組織、非営利民間団体のことを指します。



鳥取県の国際協力推進員 森木由加里さん

鳥取県の JICA 窓口 “国際協力推進員”

国際協力推進員は、JICA が実施する事業に関する相談受付や広報および啓発活動の推進、自治体の国際協力事業との連携促進などの業務を行っています。

国際協力イベントやセミナーなど、県民の皆さまと一緒に取り組んでいきたいと思っています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



facebook で情報発信中！

問合せ先 **鳥取県 JICA デスク** 〒680-0846 鳥取市扇町 21 鳥取県立生涯学習センター (県民ふれあい会館) 3 階 公益財団法人 鳥取県国際交流財団内
TEL (0857) 51-1165 FAX (0857) 51-1175 E メール jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp